



【自分の考えをまとめ表現する力を育てよう！】

1月26日(木)、今年度も5年次生による課題研究発表会を行った。各自が家政や工学、医療・保健、人文科学等の分野から課題や問題点を膨らませ、その内容からテーマを設定し文献研究や実験等を通して研究に取り組んでいる。発表会では、4年次生対象に約10分程度をかけて発表する形式である。5年次生全員が各ブースに分かれて発表ということもあり全ての生徒の発表を見ることができず残念だったが、フラダンスを題材にした「身体の歪みと治し方」や地域創生の実行委員として携わった「地方創生とマーケティング」、日本の政治との違いを示しながらの「最低のアメリカ大統領選挙」、「色彩心理学」や「地震予知とその可能性」など、様々な視点や課題・問題意識を持って取り組んだ研究が多く興味深い発表会であった。現在、国では高大接続改革として大学入試改革の検討が加速度的に進んでいる。現中学2年生が大学受験を迎える平成32年度に新たな大学入学試験が導入される予定となっている。さて、どのように変わっていくのであろうか。今言われていることは、記述式問題を導入し、文章の解釈だけでなく文章による表現のプロセスを評価。多面的・総合的な能力を把握し、グローバルな社会を生きていく日本人の育成を掲げての改革となっている。各校では、こうした大学入試改革を踏まえた教育課程の編成が求められているが、平塚中等ではこれまで取り組んできた教科指導や学校行事、特別活動をさらに発展・充実させ、引き続き生徒の表現コミュニケーション力、科学・論理的思考力、社会生活実践力を育成していきたい。そうした教育プログラムの一つが「課題研究」であり、自分の考えをまとめ表現する力を伸ばしていくものと考えている。5年次生はさらに研究に磨きをかけ、卒業論文としてまとめあげて欲しい。

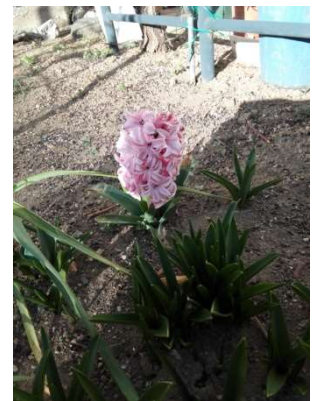
【今年も生徒の作文が表彰されました！】

第66回「社会を明るくする運動」神奈川県作文コンテストでは、日本更生保護女性連盟会長賞に3年生の根本碧衣さんの作品「気軽にチャレンジ」が選ばれた。作文はボランティアをテーマとした内容である。

また、水道に関する作品コンクールでは、最優秀賞の神奈川県知事賞に1年生の磯部楓花さんの作品「水の危機」が、優良賞の神奈川新聞社長賞に2年の柴崎琴音さんの作品「たった一つ私達が出来る節水」が選ばれた。

ここでも「自分の考えをまとめ表現する力」が遺憾なく発揮されている。

日頃より課題意識を持つこと。考えをまとめること。それを文章で表すこと。こうした習慣が身に付くことで必ずや自分の将来が開け、自己実現を成し遂げることができるはずだ。



【もうすぐそこまで春が来ています！】